

科目名	栄養指導論Ⅱ	科目分類	<input type="checkbox"/> 基礎教育科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門教育科目
			<input type="checkbox"/> 卒業必修 <input checked="" type="checkbox"/> 栄養士必修 <input type="checkbox"/> 選択
英文表記	Nutrition Education Ⅱ	開講年次	<input type="checkbox"/> 1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年
ふりがな	みやち ひろこ	開講期間	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
担当教員名	宮地博子	授業形態・修得単位	講義・2単位
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面のみ <input type="checkbox"/> 遠隔のみ <input type="checkbox"/> 対面・遠隔併用
		実務家教員担当科目	
授業のテーマ	対象者（個人または集団）の栄養評価、栄養診断に基づいた栄養教育の目標設定、栄養教育の計画・実施、評価の方法を修得する。		
授業概要	個人・集団を対象とした栄養教育の方法を理解し、栄養教育マネジメントサイクルを適用した栄養教育の計画について解説する。ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育の特性を解説する。		
到達目標	1. 栄養カウンセリングの基本を理解し、栄養教育への活用について説明ができる。 2. 個人または集団を対象とした栄養教育マネジメントサイクルを説明できる。 3. 栄養教育マネジメントサイクルに沿って栄養教育の計画立案を説明できる。		
授業時間外の学習	事前学修：事前に次回の授業箇所を説明するので教科書を読んでおく。(90分) 事後学修：授業内容を復習し授業に臨むこと。また、課題がある場合は取り組むこと。(90分)		
履修条件	栄養指導論Ⅰの単位を修得していることが望ましい。		

授業計画	
第1回	テーマ：ガイダンス 栄養教育マネジメントサイクルについて
第2回	テーマ：栄養カウンセリング① カウンセリングの技法
第3回	テーマ：栄養カウンセリング② 栄養カウンセリングへの応用
第4回	テーマ：個人を対象とした栄養教育① 栄養教育のアセスメント
第5回	テーマ：個人を対象とした栄養教育② 栄養教育の計画・実施・評価
第6回	テーマ：個人を対象とした栄養教育の展開
第7回	テーマ：集団を対象とした栄養教育① 栄養教育のアセスメント
第8回	テーマ：集団を対象とした栄養教育② 栄養教育の計画・実施・評価
第9回	テーマ：ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育① 妊婦・授乳婦の栄養教育
第10回	テーマ：ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育② 幼児期栄養教育
第11回	テーマ：ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育③ 学童期の栄養教育
第12回	テーマ：ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育④ 思春期・青年期の栄養教育
第13回	テーマ：ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育⑤ 成人期の栄養教育
第14回	テーマ：ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育⑥ 高齢期の栄養教育
第15回	テーマ：ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育⑦ 災害時の栄養教育活動
第16回	定期試験
テキスト	武見ゆかり 他「健康・栄養科学シリーズ 栄養教育論 第5版」 南江堂
参考文献・資料	永井成美・赤松利恵「Visual 栄養学テキスト 栄養教育論 第2版」 中山書店
成績評価の方法	定期試験（70%）、提出物（30%）で総合的に評価する。出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
オフィスアワー	授業開始前・終了後に教室にて質問等受けます。
受講生に望むこと・受講のルール	積極的に授業に参加すること。事前学修・事後学修の時間をとること。